科目ナンバリング	U-LAS13 10007 LJ60						
授業科目名 <英訳>	基礎有機化学 I Basic Organic Chemistry I			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授　藤田　健一		
群	自然科学科目群			分野(分類)	化学(基礎)	使用言語	日本語
旧群	B群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・ 開講期	2026・後期	曜時限	月5	配当学年	主として1回生	対象学生	理系向

[授業の概要・目的]

理系学生を対象として、有機化学の基礎を修得することを目的とする。医薬品・農薬・機能材料等の有用物質を分子レベルで理解することを目指し、そのために必要な有機化学を系統的に学ぶ入口として、本講義を開講する。基礎有機化学IIを続けて履修することで、有機化学の全体像が把握される。

[到達目標]

有機化合物における構造と物性、電子状態と反応性の相関を理解する。

[授業計画と内容]

基本的には指定教科書の単元に従って以下のように講義を進める予定である。
ただし、講義の進行度合いに応じて時間配分などを変えることがある。

１．有機化合物の電子構造と化学結合【3週】
２．有機化学反応の基礎、有機化合物の命名法【2週】
３．有機化合物の立体構造【3週】
４．脂肪族炭化水素（アルカン，アルケン，アルキン）の性質と反応【3週】
　　ラジカル連鎖反応、求電子付加反応など
５．芳香族炭化水素（ベンゼンとその誘導体）の性質と反応【3週】
　　求電子置換反応など
６．フィードバック 【1週】

[履修要件]

次年度に開講される後半（基礎有機化学II）との連続した履修を推奨する。

[成績評価の方法・観点]

定期試験（筆記）80%と、平常点（演習問題・レポート提出状況）20%、により評価する。

[教科書]

山口良平，山本行男，田村　類 共著 『ベーシック有機化学（第２版）』（化学同人）ISBN:978-4-7598-1439-2

[参考書等]

（参考書）
入江・津江編著他 『有機化学要論－生命科学を理解するための基礎概念』（学術図書出版社）ISBN:978-4-7806-0479-5
山本行男 『第２版　クリック！有機化学』（化学同人）ISBN:978-4-7598-1812-3

基礎有機化学Ⅰ(2)へ続く↓↓↓

基礎有機化学Ⅰ(2)

[授業外学修（予習・復習）等]

授業中に次回の講義内容を示すので、事前に教科書を読んでおくこと。また、教科書の章末問題等を活用して、講義内容の復習に努めること。

[その他（オフィスアワー等）]

【注意１】本科目は、後期に開講する「基礎有機化学I」です。
【注意２】理学部、工学部理工化学科、及び薬学部の再履修生は該当するクラス指定の基礎有機化学Iを受講してください。

[主要授業科目（学部・学科名）]

総合人間学部、理学部